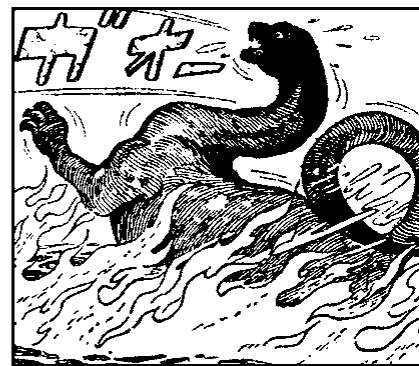
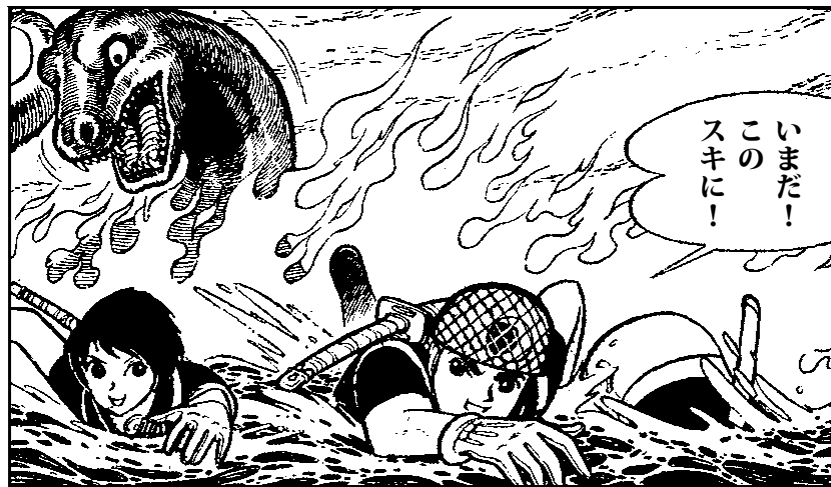
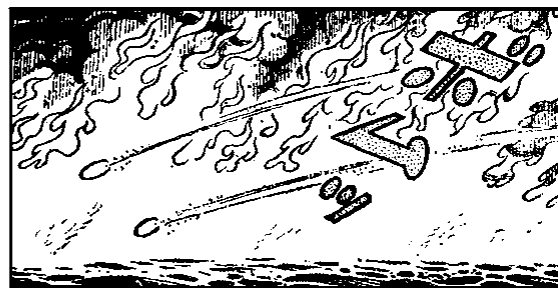
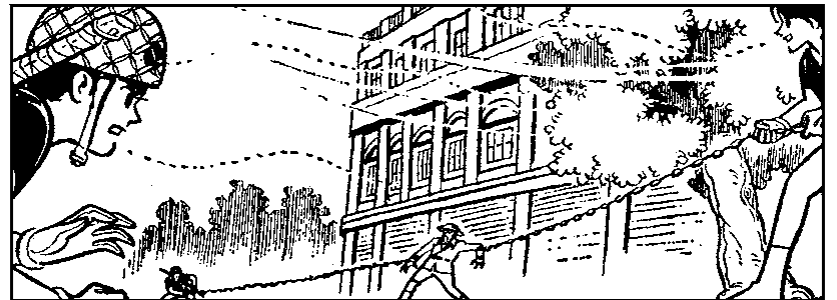
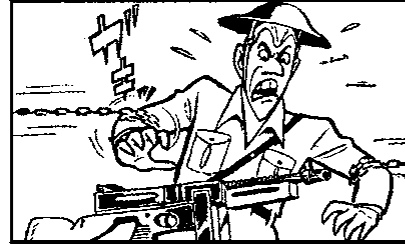
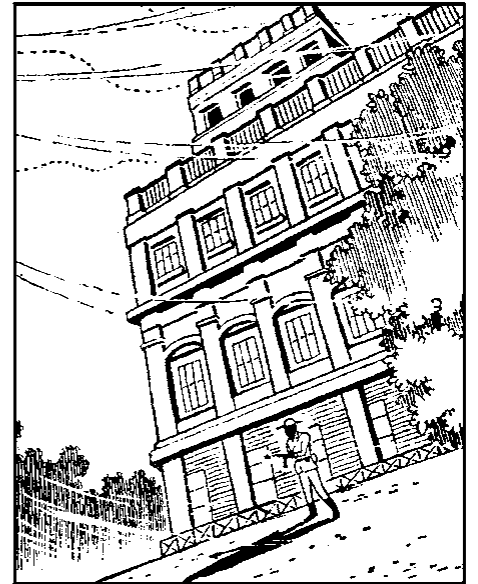
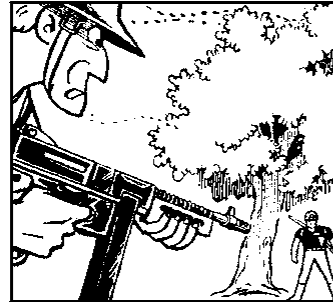
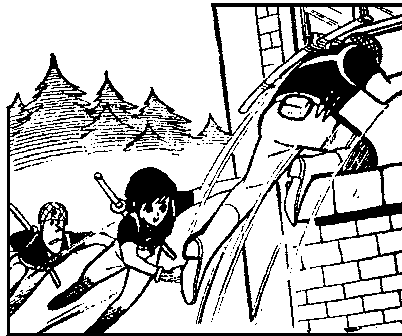
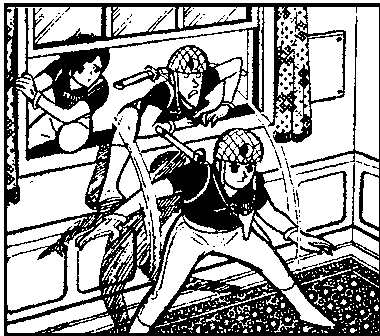
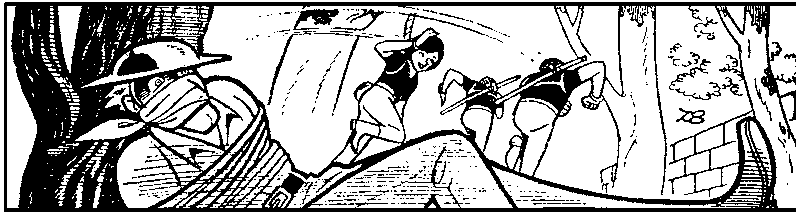
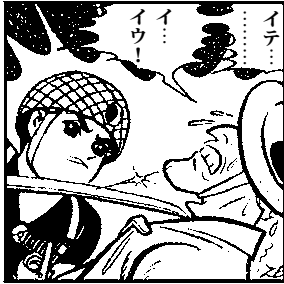
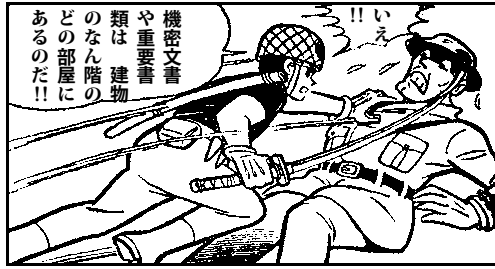
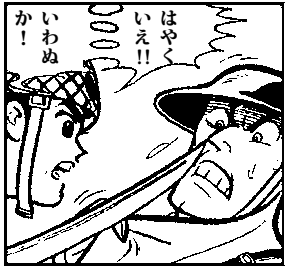
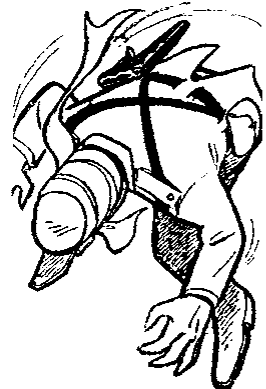
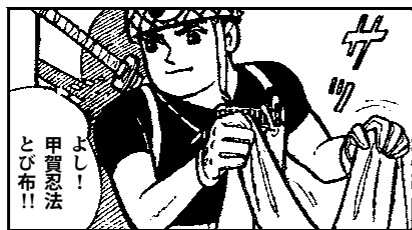
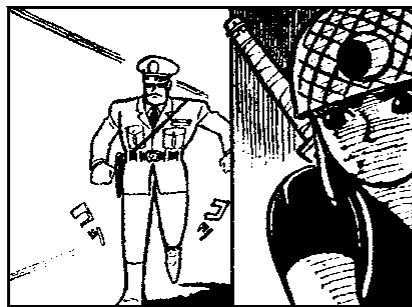
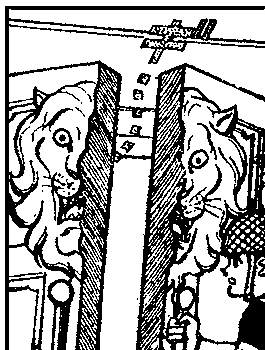
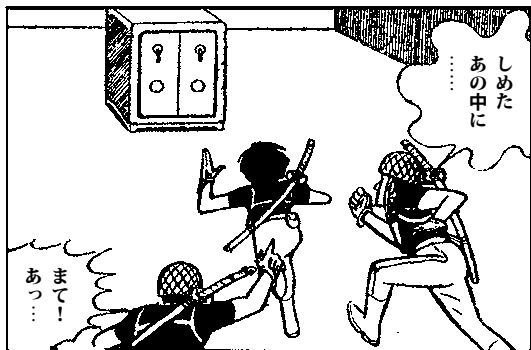
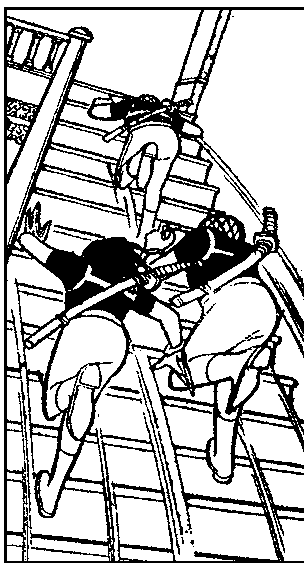
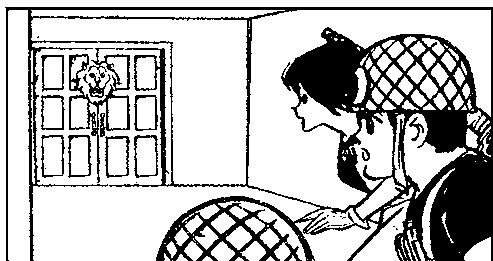
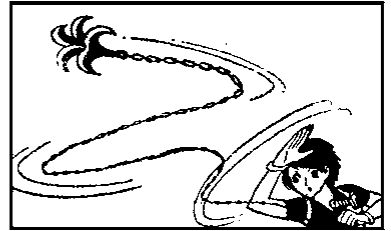
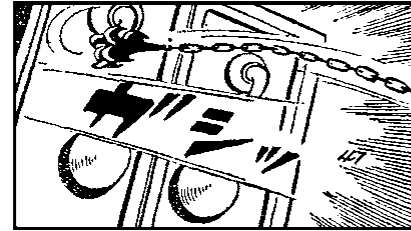
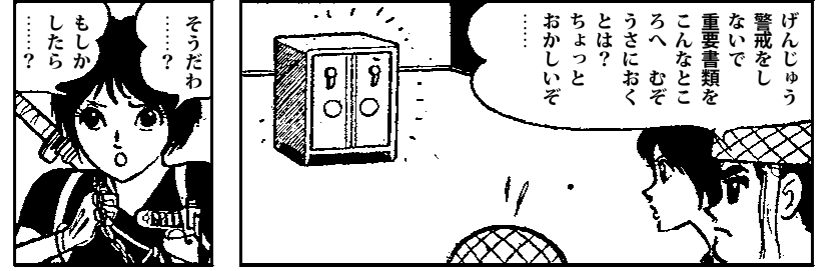
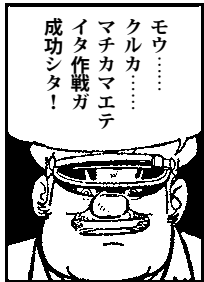
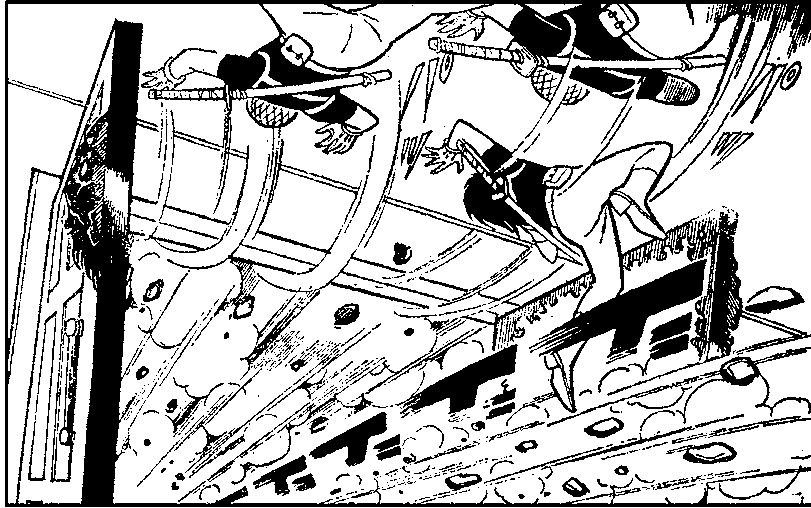


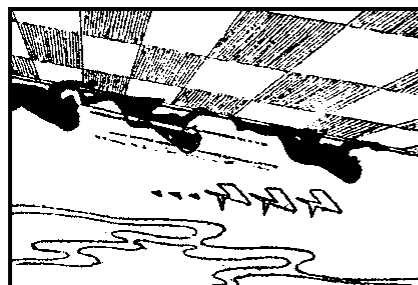
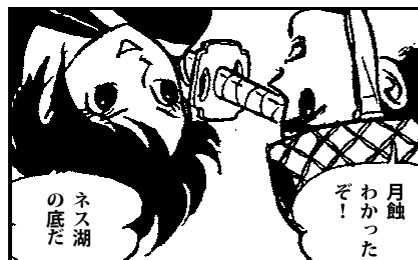
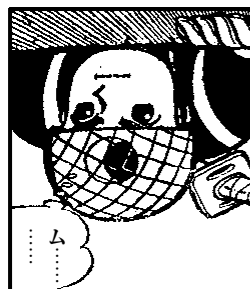
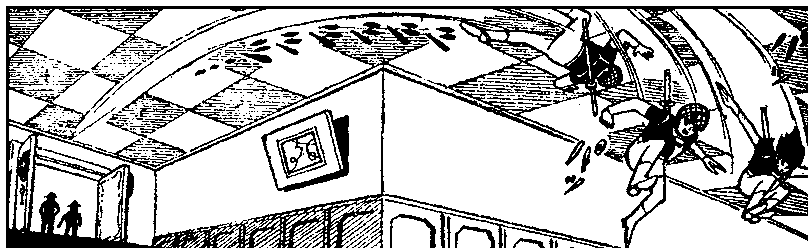
伊賀忍法・地獄火  
 特殊な製法でつくった赤燐と、空  
 気中で自然に発火する黄燐とをま  
 ぜてつくった粉末は、水に浮きな  
 がら、炎をだしてもえる。  
 むかしの忍者は、この方法で追手  
 をまいたり、包囲陣を突破したと  
 という記録がいまもこっている。

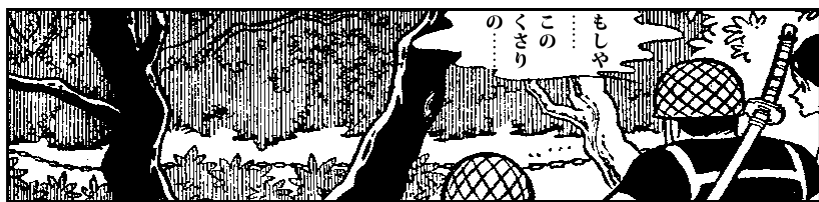












ネス湖の恐竜  
 一九三二年十一月十二日、ネス湖沿岸遊歩場の事務員ヒュー・グレイが、岸から六十メートルの場所で、約十五メートルの恐竜の写真撮影に成功。  
 一九四五年十一月は、トロール漁船ライバル号が、音波探深機で恐竜を発見。それは湖底までの三分の二の深さの水中で動いている、長い首に四つ足の巨大な恐竜の正体であった。

